

ピックアップパトランナー

このコーナーでは全国で活動するパトランナーの皆さんをご紹介します。

活動エリア：千葉県 **始澤 萬來女** さん
しざわ まさめ

今月のピックアップは千葉県松戸市にお住まいの始澤萬來女さんにお話を伺いました！

①パトランを始めたきっかけを教えてください

10年前に両眼に病気を患い、目が見えなくなり家の中で悶々としていました。友人が毎日公園に連れて行って来て、何時間も大きな木の下でお喋りしていました。暑い夏が過ぎた頃ぼんやり見えてきたので、公園のお掃除を始めて、今にいたっています。この先私が公園の管理が出来なくなった時、若い人に話したいと思い、考えていたらFacebookでパトランを知り、お掃除を手伝っていただけてすぐにお仲間に入れていただきました。



パトラン松戸のゴミ拾い部隊で活躍しています

②パトランを始めたことでの変化はありますか？

ボランティアの内容は今までと変わりませんが、気持ちが若くなった事。子どもや孫の様な人たちとお話できる事は、パトラン以外では考えられない事です。

③パトランの際に意識していることは？

「パトランガイド虎の巻」を拝見して、「目を見てあいさつ」の所はなるほどと思います。長く生きていますと、当然の事ですので意識しています。ただ、私はゴミ拾い専門ですので、下を向いてゴミを拾っている、道行く人に「ご苦労さま、いつもありがとうございます」と先に声を掛けていただいています。その時は「ありがとうございます」と言っていますが、私から声をかけると「ご苦労さま」の催促になるとしますので、自分からは積極的に声掛けはしていません。ゴメンナサイ！

④あなたにとってパトランとは？ 私の歳を忘れさせてくれる妙薬かな？

⑤パトランを通しての夢は？

パトランだけでなく、若い人々を通していつも考えている事は、もっと政治に興味を持ってもらい、この国にパトランが存在しなくてもいい国になってほしいです。

⑥全国のパトランナーに一言

私は10歳の時、戦争の爆撃で両手を無くされた方の食事の世話を手伝ったのがボランティアの始まりです。その時の両手の無いおじさんの「ありがとう、ありがとう」が今私のボランティアの励みになっています。幼い時、知らない人の役に立てた事をほめてもらい、とても誇らしく思えたのが、私のボランティアの原点です。全国のパトランのみな様も子どもや若い女性、お年寄りが安心して暮らせるように、社会に貢献できる事を誇りに思い、時間の許す限りパトランを続けていきたいと思います。

始萬さんありがとうございました！

認定パトランナー誕生！

2月に11人目の認定パトランナーが誕生しました！

■認定パトランナー制度とは？

パトランに所属して半年以上、81回以上のパトランを実施したメンバーであれば誰でも申請できる制度です。認定になれば、認定カードとシリコンバンドをお届けします。申請には、81回以上パトランを実施した記録（カードなど）が必要となります。



NO.11 東京都！！ 渡部 信隆さん

【メディア情報】 西尾チーム新聞掲載



4月7日の愛三時報にパトラン西尾チームも参加した「春の交通安全運動」が紹介されました

松戸チーム新聞掲載

パトラン松戸チームがタウン誌「UKIUKI」のサークル紹介コーナーに掲載されました！

【イベント・PR】お台場お花見パトラン



4月9日お台場にてお花見パトラン & 交流会を行いました。パトラン、ゴミ拾いチーム合わせて27名、交流会は31名が大集合しました。



「3/25 未来フェスタ2017」



「3/19 足羽川ふれあいマラソン」

紹介した以外にも沢山の大会イベントでパトランをPR！

～パトランコフォト 春満開スペシャル～



3～4月、パトランJAPAN投稿も桜が満開でした

パトランサポーター募集 パトランの全国展開のためご支援をよろしくお願いいたします！

パトランを運営するNPO法人改革プロジェクトは認定NPO法人の取得を目指しています。取得には100人以上のサポーターが必要となります。ぜひ、みなさまのお力添えをお願いいたします。

個人サポーター

3,000円/年 6,000円/年
9,000円/年 12,000円/年
24,000円/年

企業団体サポーター

A. 50,000円/年
B. 30,000円/年
C. 10,000円/年

寄付支援

自由な金額でのご支援をお願いします。

